

## NPO法人 千葉自然学校 平成31年度 事業計画

三十年にわたる平成の時代が終わり、5月1日からは新しい元号での歴史が始まります。

平成時代の半分強の年齢を重ねて来た千葉自然学校も設立時に掲げた三本の旗印、即ち体験活動を通じて

1. だれもが人生を豊かに生き、支え合う力を育む
2. 地域の資源を保全・活用し、次代に引き継ぐ
3. ネットワークを充実し、地域の活性化をめざす

の使命を実現したいとの強い思いを持って取り組んできました。

今日、少子化、高齢化、人生100年時代の到来、そして働き方改革など我々の活動を取り巻く環境は大きく変化し、少なからず経営に影響を及ぼして来ています。

特に、経営の柱となる自主事業については、安定した集客が難しい状況が続いていますが、自然学校の使命でもある自然体験活動の普及・推進事業として、これまで以上に魅力的で楽しく、内容の充実したプログラムの提供になお一層の努力をしたいと考えています。

また、会員校とのネットワーク強化の課題については、昨年11月に会員校の有志参加のもと「これからのネットワークの未来を語る」をテーマに宿泊を兼ねて徹底した討議をしました。

その際には、多様な意見が出されましたが、会員校、理事そして事務局がネットワーク強化のための役割を担うことにしたら如何か、との方向性が出されました。

今後、更に検討を加え全国的に誇れる稀有な組織の自然学校として歩んで行きたいと考えています。

都市と農村の交流施設として整備してきました「茅葺古民家ろくすけ」は、屋根の一部葺き替え、土蔵の改修など当面必要な修繕に一区切り出来ましたので、地元住民との連携を図り、今後、更なる活用を図って自立経営を目指して行きます。

なお、昨年12月には、ろくすけの地域連携活動が関東農政局から、また11月には、年々参加者の増加が見られる佐倉市岩名の体験農園について毎日新聞社から、それぞれ表彰を受けました。

2023年には設立20周年を迎えますが、これからも社会的使命を果たすことの出来る組織として、早期に千葉自然学校の有るべき姿を示して行きたい

と考えています。

「組織は人なり」と言います。有用な人材の育成とそのために安心して働ける環境づくりについても引き続き取り組んで行きます。

新年度の組織を一部見直し、それぞれの道に進むために退職した職員の補充などのため4名の新規採用及び内部の人事異動によって体制を整備しました。

また、各部門の事業については、それぞれの事業方針のもとに組織一丸となって運営して行きたいと考えています。

## 事業計画

### ■事業部

#### ・CNS自主事業

1. 子どもから大人（シニア）を対象に各世代のニーズを捉え、地域特性と地域人材を活かした自然体験活動を展開。
2. 学校や教育委員会と連携をとり学校ポスト等を活かした広報活動をし、ひとりでも多くの子どもへ自然体験活動の機会を提供。
3. 安全で質の良い体験活動の提供を目指し、担当ディレクター（職員）とボランティアリーダーの育成・NEALリーダー養成事業の実施。

#### ・受託事業

1. 教育旅行、企業研修、CSR活動を中心とした新規事業開拓。
2. ネットワークを活かした協働・連携による事業展開の充実。
3. 事業運営体制の見直しによる職員の人材育成。

#### ・千葉県立君津亀山少年自然の家（2016年4月～2021年3月末）

1. 地域や会員校との連携による生涯学習センターとしての機能充実。
2. 利用者満足度向上によるリピーター団体の増加。  
（宿泊者数目標 22,200人）
3. 課題解決を通じた冒険教育の実践（エレメントの導入）
4. 事故「ゼロ」へ向けた取り組み

#### ・南房総市大房岬自然の家（2018年4月～2023年3月末）

1. 教育効果の高い自然体験プログラムの指導レベル維持。  
（宿泊者数目標 19,000人）
2. 安房地域の資源を活用した主催事業の充実。
3. 地域連携と経済波及効果を意識した運営。
4. 効率的な施設の維持管理と応援企業のマッチング強化。

・南房総エコツーリズム推進事業

1. 南房総健康ラボ×南房総市観光協会×千葉自然学校との共同による健康増進型自然体験プログラムの開発・販売・ガイドの養成。
2. 着地型旅行商品の開発と実施。

・千葉県立大房岬自然公園（2017年4月～2022年3月末）

1. 自然公園の特性をいかした環境教育プログラムの開発。
2. 平日や冬期の対策を行う事によるキャンプ場利用数の拡大。  
（キャンプ場張数目標 3, 500張）
3. 各種看板やおすすめスポットの掲示など、園内掲示の充実。
4. 地域団体の公園利用の拡大。

■地域協働事業部

だれもが人生を豊かに生き、支え合う力を育む機会と場づくり。

健康長寿、社会と繋がる人づくりの活動、自立を目指した事業のために地域住民、NPO、行政、企業等と連携を図りながら実施する事業、県内体験活動事業者の発掘及び運営、事業、人材育成、ネットワーク等の相談窓口の開設。

・ちば・体験活動ネットワーク（仮称）事務局

推進組織として、ネットワーク担当理事、会員校理事で構成されるネットワーク組織を立ち上げ、ネットワークの再構築を行なうための事務局機能を担う。

1. ちば・体験活動ネットワーク（仮称）事務局の運営。
2. 県内の体験活動団体の相談窓口としての役割を担い、必要に応じた対応、助言を行なう。

・古民家ろくすけ事業

当校のシンボルタワーとして維持継続すると共に、自立を目的とした事業を緩やかに、以下の取り組みを行なう。

1. 古民家ろくすけの企画、管理、運営（事業、接客、加工等）を行なえる人材育成。
2. 農泊施設としての営業の実施。家族、小グループ単位を対象に一棟貸しで宿泊を実施。場合によってはプログラム提供も同時に行なう。
3. ホームステイの受入れを実施。CNS自主事業、ヤックス自然学校事業、青少年教育団体等の健全なる活動の場合には、ホームステイとして利用を受け入れる。
4. ろくすけもち（性学もち）、味噌、米作り及び体験農園等の普及と地域農産物の加工・販売の拡充、郷土料理の普及活動。
5. 施設・設備の維持管理のために改修、改築などを行なう。その為の助成金、補助金がある場合には、獲得できるようにする。  
また、スタッフで出来る作業は、積極的に実施していく。
6. 映画、テレビ、コマーシャル等のフィルムコミッション利用の広報。
7. 平群地域の活性化に取り組む平群ツーリズム協議会事務局の運営。

### ・体験農園 in 岩名

NPO、農業者、農業指導者、千葉シニア自然大学の協働による運営を継続する。

1. 親子を対象とした農育・食育推進活動の継続的な展開。
2. 都市部での農のある暮らしを提案。みそ作り講座、勉強会など付属イベントを開催。
3. 収穫した農産物の有効活用。
4. 千葉シニア自然大学受講生、卒業生に農業実践の場の提供。

### ■千葉シニア自然大学

千葉の里山里海の自然・地球・天文・健康づくりなどについて座学、野外活動を通じて学び、この学びを契機として、いつまでも元気で社会とつながる人づくりの活動。併せて健康長寿、社会づくりに寄与することを目標に運営する。なお、この活動について千葉県、千葉市の後援を得ることができたことを契機に幅広い広報の推進及び更なる後援団体の拡大に努める。

1. 本科・専攻科の円滑な運営。
2. シニア自然大学の同窓会（房総自然の会）との連携及び広く県民に周知するためのオープンキャンパス等の実施。
3. 卒業生が組織する「古民家ろくすけの会」との連携による援農など地域活性化への寄与。
4. 佐倉市に開設した「体験農園 in 岩名」における農業実践のサポート。
5. 会員校と連携した自然体験活動指導者（NEALリーダー）としての活躍の場づくり。
6. 事務局の拡充と運営スタッフの後継者育成。

### ■ヤックス自然学校事業（株式会社千葉薬品受託事業）

企業の社会的責任の一環として、社会の動きを素早くキャッチして、安心安全で楽しい自然体験活動を継続的に実施。

1. 年間を通じて魅力あるプログラムを実施し、参加者数延べ4,000人、会員登録者数400人、リピーター率80%を目指す。
2. 集客地域の拡大を目指し、店舗回りの強化、SNSを活かした広報の充実。
3. 昨今の虐待問題から親子を対象とした絆を深めるプログラムの実施。
4. NEALリーダー養成事業の継続（資格取得）と将来の教職員を目指すキャンプリダー（大学生）の人材育成（人を育てる）。

### ■総務・広報部

#### ・広報事業

1. ホームページやSNSを活用した情報発信。
2. 新聞社・新聞記者への積極的な取材依頼。
3. 営業ツールを用いた企業・学校等への訪問営業。
4. 都市部大規模イベントへの出店による活動のPR。